

## 2023年度

科目名称	社会科
授業コード	AI224
英語名称	Social Studies
学期	2023年度前期
単位	2.0
担当教員	梶井 正紀 (教育人間科学部)
記入不要 ナンバリングコード	
授業の概要	小学校社会科教員としての資質・能力を身に付けることを目的とする。具体的には、「小学校学習指導要領（平成29年告示）解説社会編」を基に、社会科という教科としての目標及び内容、3年生から6年生までの内容（知識等）について体系的に学習する。また、日常的な社会的事象と教科としての社会科の学びとの関連性を図った上で、指導観（単元観・教材観・児童観）が確立できるよう基本的な知識を身につける。
科目に関連する実務経験と授業への活用	中学校（社会科）や高等学校（地歴科）を担当した教員が、その経験を活かして社会科的専門知識を教授する。また、授業実践における研究発表等を行った経験から、授業を組み立てるための要点（展開）を指導する。
到達目標	<p>学科のディプロマポリシーに掲げる「2. 教育・保育に求められる専門知識と技能を体系的に理解するとともに、子どもに関する情報を分析し、子どもの育ちに即した教育及び保育方法を実践することができる。【知識・技能】また、カリキュラムポリシーに掲げられている各教科に関する基礎的な知識を学ぶ（教科基礎科目）到達目標は以下のように設定する。</p> <p>&lt;知識・技能についての到達目標&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・社会科に関する基礎的知識（我が国の国土と歴史、日本国憲法及び我が国の政治のしくみ）とその意義を理解し、社会科への関心を高めることを目的とする。</li> <li>・社会的事象の見方・考え方に関する知識とその意義を理解する。</li> </ul> <p>&lt;学士力についての到達目標&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・教師の役割と責任の重さを自覚し、子どもを指導する覚悟と知識・技術・態度を身に付ける。</li> </ul>
計画・内容	<p>第1回 オリエンテーション 授業の進め方や15回の授業の内容及び小学校社会科について</p> <p>第2回 初等社会科の意義とねらいについて（基礎的知識に関するミニテスト）</p> <p>第3回 世界の地域構成（日本の国土と世界の国々について）</p> <p>第4回 地理的環境と人々の生活（日本の自然環境&lt;気候・地形・自然災害&gt;）</p> <p>第5回 地理的環境と人々の生活（日本の稲作の盛んな地域）</p> <p>第6回 地理的環境と人々の生活（日本の水産業の盛んな地域）</p> <p>第7回 地理的環境と人々の生活（日本の工業について）</p> <p>第8回 歴史と人々の生活（歴史的内容に関わる特色、大昔の暮らし）</p> <p>第9回 歴史と人々の生活（古代の日本）</p> <p>第10回 歴史と人々の生活（中世の日本）</p> <p>第11回 歴史と人々の生活（近世の日本）</p> <p>第12回 歴史と人々の生活（近世の日本）</p> <p>第13回 歴史と人々の生活（近代の日本）</p>

## 2023年度

計画・内容	<p>第14回 歴史と人々の生活（近現代の日本）</p> <p>第15回 現代社会の仕組みや働きと人々の生活（日本国憲法と我が国の統治機構）</p> <p>社会科教科書（小5・6年）は毎時間必ず持参すること。復習の内容や方法等については、毎回、適宜、指示をする。</p>
授業の進め方	<ul style="list-style-type: none"> <li>・基本的には講義を行うが、学習内容に即した演習等を通して、学習内容の理解を深めるようにする。（小テスト・レポート課題についてはコメントをつけて速やかに返却する）</li> <li>・授業計画・内容に予習・復習の視点を一部掲載したので、参考にすること。（60時間程度時間外学習が望まれる）。</li> <li>・学習内容をより理解しやすいように、プリント教材を配布したり、パワーポイントのスライドをCampusSquareに掲載する。</li> <li>・基礎的学力の定着を図るために、小テストを複数回実施する。</li> </ul>
能動的な学びの実施	<p>講義や演習における主体的で協動的な学びが行われるよう、各自が毎時間の授業の見通しを立てるとともに、授業後のリフレクションを必ず行うようにする。また、各自が授業前に本時の学びを深めるための問いを立て、その解決を図るための取り組みを行うようにすることが重要である。</p>
授業時間外の学修	<ul style="list-style-type: none"> <li>・授業時間外学修（合計60時間程度）</li> </ul> <p>予習：指示がない回は、タイトルやキーワードに関して基本的な理解を得ておく。  復習：配布資料や授業中のメモをノートに留め、自己のノートづくりしておく。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・大学での学修の成果を上げ、教育実習に参加して社会科の授業づくりと学習指導を行うことのできるだけの学習素材（内容）に対する理解を深める観点から、多様な機会を通して中学校・高等学校での社会科関連科目の学び直しを行うことが必要である。また、時事問題や社会的事象に対する興味や関心を高め、新聞やニュース等についてもクリティカルな見方ができるようにしておくことが大切である。</li> </ul>
教科書・参考書	<p>&lt;教科書&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「小学社会」5年、6年 教育出版</li> <li>・文部科学省「小学校学習指導要領（平成29年告示）解説 社会編」日本文教出版</li> <li>・初等社会科教育 ミネルヴァ書房</li> <li>・「楽しく学ぶ 小学生の地図帳」帝国書院</li> </ul>
成績評価方法と基準	<ul style="list-style-type: none"> <li>・課題レポート又は小テスト（30%）、定期テスト又はそれに代わるレポート（70%）を総合して評価する。</li> </ul>
課題等に対するフィードバック	<ul style="list-style-type: none"> <li>・授業で課したレポートやリフレクションについては、次回の授業で個別的又は全体的にフィードバックをする。また、その他の課題等については、可能な限り添削後、返却する。</li> </ul>
オフィスアワー	<p>授業時間の前後を利用して、学習相談等を行う。</p>
留意事項	<ul style="list-style-type: none"> <li>・小学校1種免許状取得のための必修科目である。</li> </ul>
非対面授業となった場合の「授業の進め方」および「成績評価方法と基準」	<p>授業の進め方</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・CampusSquareの【掲示板登録】により学習課題を提示し、【履修】の中にある【レポート作成・提出レポート確認】によりワークシートの内容提示と回収を行う。提出されたワークシートに添削及びコメントを付して学生に返却する。</li> </ul> <p>成績評価の方法と規準</p> <p>変化なし（提出方法が、手渡しからCampusSquare上に 変化するのみ）</p>